



学校法人志賀学園  
久之浜こども園  
令和7年4月7日

やわらかな春の日差しのなか、園庭のチューリップが満開になり園児の皆さんのご入園ご進級をお祝いしているかのようなようです。

いよいよ期待に胸が躍る新年度のスタートです。進級したお友だちも職員も、両手をいっぱい広げて、新しく入園されるみなさんをお待ちしていました。期待に胸をふくらませ入園される園児の保護者の皆様にとっては、小さな我が子を預けることに多少の不安もあるかと思いますが「久之浜こども園」に毎日楽しく通えるよう、職員一同心を込めてお預かりさせていただきます。

さて、本園の今年度の教育方針は『こどもたちのあそびを深める保育をしよう』です。こども一人ひとりに愛情をもってかかわり、こどもたちの興味関心を感じとり、保育者も一緒にこどもたちと楽しみながらあそびを深めて参りたいと思っております。年齢に応じたあそびの環境を整え、子どもたちがこども園で楽しく過ごせるよう、心を込めて関わって参ります。

本園の建学の精神は「感性の豊かな日本の心をもった真の国際人の育成」です。それに鑑み教育方針の一つとして「日本の良き伝統を伝える」とありますので、これから毎月園だよりにて日本古来の行事について、お知らせしていきたいと思っております。今月は「昭和の日」についてお伝えします。

4月29日は昭和の時代は『天皇誕生日』でした。昭和天皇が崩御された翌年以降は、昭和天皇が自然を愛し植物学者だったことから『みどりの日』に名称が変更されたものの、昭和という激動の時代を忘れないために、2007年から4月29日は『昭和の日』という名称に変わり、新たに日本の祝日として制定されました。昭和の時代は長く苦しかった第一次世界大戦を経て高度成長期を迎えたことにより日本は大きく飛躍し、政治だけでなく人々の生活にも変化があった時代でもあります。私は戦後生まれで、戦争の苦しみは経験していませんが、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの戦争により、悲惨な状況になっているガザ地区を見ていますと、戦争はあってはならないことだと切に思います。現在の日本の豊かさは、先人の方々の勤勉な努力があって築かれてきたものです。そのことに感謝しつつまでも平和な世の中が続くよう、子ども達を育てていかななくてはならないと思うのです。

これから、園児の皆さんが元気に園生活を送れますよう、園とご家庭とで連携をとりながら進めて参りたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

久之浜こども園園長 青木孝子